

～千住に生まれ地域のお客様とともに～

『イトーヨーカドー食品館千住店』3月15日(金)オープン

株式会社イトーヨーカ堂（東京都千代田区、代表取締役社長：三枝 富博）は、東京都足立区に、『イトーヨーカドー食品館千住店』を、2019年3月15日（金）午前9時にグランドオープンいたします。

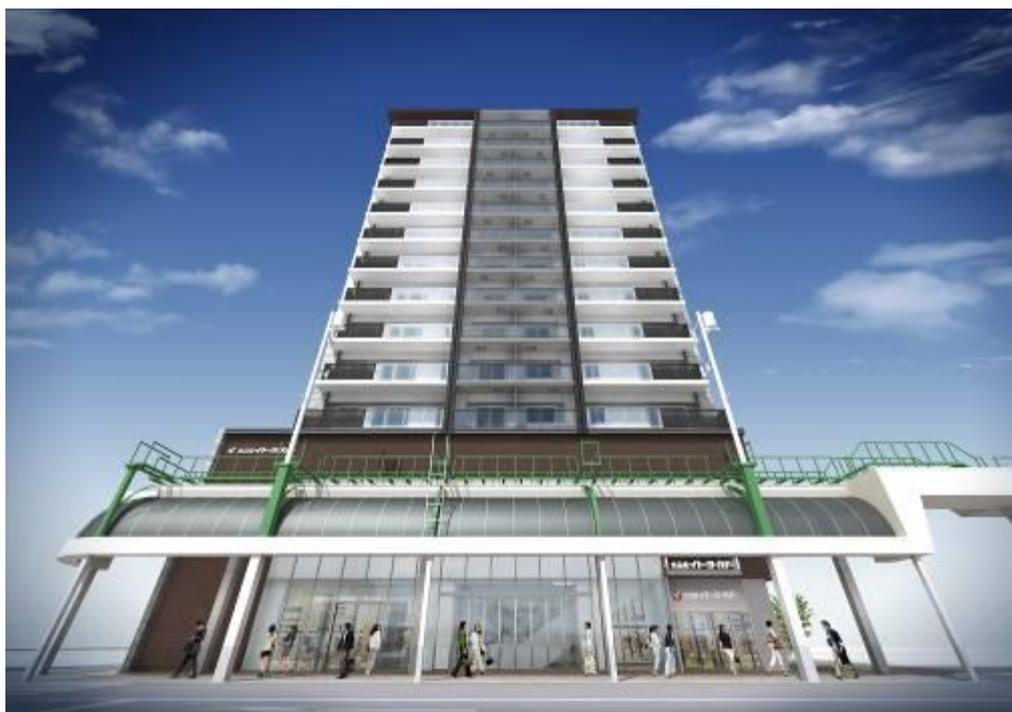
当地におけるイトーヨーカ堂の歴史は、千住に戦争の爪痕がまだ生々しく残る1946年、現 株式会社セブン&アイ・ホールディングスの名誉会長である伊藤雅俊の母ゆき、兄 譲がわずか2坪の「羊華堂」を開いたことに始まります。その後、3回の移転を経て現在の場所に店舗を構えてから、イトーヨーカドー1号店として、「イトーヨーカドー千住店」、「ザ・プライス千住店」と形を変えながら、地域の皆様にご愛顧いただき、これまで育てていただけてまいりました。

このたび、『イトーヨーカドー食品館千住店』として新たに食品に特化した店舗に生まれ変わり、新たな歴史を歩み始めます。

店内には、地域の皆様に昔を懐かしんでいただけるよう、千住店の歴史を振り返るパネル等も展示いたします。

当店は、北千住駅から徒歩6分のアクセス至便な立地です。マンション併設型店舗として、マンションにお住まいの方はもちろん、地域の皆様に便利にご利用いただける店舗を目指してまいります。

■店舗外観イメージ



■千住店の歩み

時期	千住店の歴史	世の中の動き・話題
1920年	<p>浅草・山谷3丁目に 伊藤雅俊（現名誉会長）の 叔父 吉川敏雄が 「めうがや」を開業 1928年頃に「羊華堂」に改名</p> <p>1920年頃の「めうがや」</p> 	<p>銀ブラが流行、 電話需要急増</p>
1940年	<p>叔父 吉川敏雄からののれん分けにより、 伊藤雅俊の兄 伊藤譲が 浅草に洋品店「羊華堂」を開業</p>	<p>「贅沢は敵だ」が 流行語に</p>
1946年	<p>北千住で「羊華堂」を開店 蕎麦屋の店先2坪から再出発する その後2回の移転</p>	<p>日本国憲法制定</p>
1948年	<p>3度目の移転により 現在の場所に開店し、 店舗を150坪に 拡張する</p> <p>1948年頃の店舗</p> 	<p>日本初の サマータイムを実施、 ロングスカートが 流行</p>
1956年	<p>伊藤譲が急逝、伊藤雅俊が経営を継ぐ</p>	<p>アロハシャツが流行</p>
1958年	<p>「株式会社ヨーカ堂」を設立</p>	<p>東京タワー開業</p>
1965年	<p>商号を「株式会社伊藤ヨーカ堂」へ変更</p>	<p>エレキギターが流行</p>
1968年	<p>店舗を地上6階、 地下1階へ大幅拡張し 新装開店する</p> <p>店名を「イトーヨーカ堂」 へ変更</p> <p>1968年頃の店舗</p> 	<p>郵便番号制度実施、 メキシコオリンピック 開催</p>
2009年	<p>「ザ・プライス千住店」 オープン</p> <p>2009年オープン時の店舗</p> 	<p>全国初の裁判員裁判、 「ファストファッション」 が話題に</p>
2019年	<p>「イトーヨーカドー食品館千住店」オープン</p>	

■施設概要

施設名称	イトーヨーカドー 食品館 千住店
所在地	東京都足立区千住3番地2号
店長	川嶋 隆平（かわしま りゅうへい）
延床面積	約 1,726 m ²
売場面積	約 992 m ²
建物	店舗：地上 1F・2F
従業員数	計 76 名（社員 16 名、パートタイマー60 名※8 時間換算の人数）
オープン日	2019 年 3 月 15 日（金）午前 9 時
営業時間	10：00 ～ 22：00 ※オープン時 3 日間は 9:00 オープン
商圏人口	約 5 万人・2.6 万世帯（半径 1km 圏内） ※基礎商圏

■当地の概要

当地は、JR 常磐線、東武スカイツリーライン、千代田線、日比谷線、つくばエクスプレス「北千住駅」の約 500m に位置し、1km 圏で約 5 万人の人口を有する地域です。近隣を四号線等の主要幹線道路が走り、交通アクセスの至便な立地です。

以 上